

T P Tシンポジウム 2008

「原油高騰時代の舗装を考える」 - 社会のニーズに応える舗装材料と工法開発 -

現在我が国の舗装は、アスファルト舗装とセメントコンクリート舗装が施工されており、この30年来、そのほとんどをアスファルト舗装が占めています。しかしその主材料となるアスファルトは、原油を原材料として製造されており、その価格は昨今の価格急騰の影響を大きく受けています。一方セメントコンクリート舗装は、アスファルトに比べ原材料の価格の高騰は鈍いものの、施工量の減少に伴う技術力の低下が危惧されています。このようなことから、つくば舗装技術交流会（T P T）は、「原油高騰時代の舗装を考える - 社会のニーズに応える舗装材料と工法開発 -」をテーマにシンポジウムを企画いたしました。

独立行政法人土木研究所舗装チーム
上席研究員 久保 和幸

日 時：平成 20 年 11 月 20 日(木) 15:00～17:00

場 所：国土技術政策総合研究所 8F 会議室（茨城県つくば市旭 1 番地）

開催スケジュール：

時 間	内 容
15:00～15:20	基調講演「ようこそ！ 白い世界へ」 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 教授 小梁川 雅
15:20～17:00	パネルディスカッション 座 長：橋本 修治 日本道路株式会社 パネリスト：泉 秀俊 株式会社 NIPPO コーポレーション 稲葉 行則 大林道路株式会社 児玉 孝喜 鹿島道路株式会社 五島 泰宏 大成ロテック株式会社 小梁川 雅 東京農業大学 教授 新田 弘之 独立行政法人土木研究所 (アイウエオ順)

参加費：無料

その他：C P D S を登録しています。

主催者：独立行政法人土木研究所舗装チーム

共催者：つくば舗装技術交流会、財団法人土木研究センター

参加申込：下記までお問い合わせください。なお定員になり次第締め切らせて頂きます。

また、都合により公演時間に変更になる場合がございます。予めご了承下さい

お問合せ先：(財)土木研究センター 企画・審査部 荒川・高柳

電話：03-3835-3609、F A X：03-3832-7397、E-mail:kikaku@pwrc.or.jp